



～豊かな自然 輝くもがみ～

もがみエコポリス通信

—最上総合支庁だより—

本通信は、月間号。最上総合支庁1階ロビーに常設。インターネットからは山形県庁のHP→地域情報→最上総合支庁からご覧いただけます

2009

1月号

平成21年1月6日発行
山形県最上総合支庁



新春

新庄神室産業高等学校生物環境科の生徒のみなさん80名が丹精込めて育てたシクラメンです。

法定合併協議会が設置へ

12月25日に、新庄市、真室川町及び戸沢村の各議会において、法定合併協議会設置の議決がなされ、今月13日に3市町村による同協議会が設置されることになりました。

この協議会では、市町村長、議長・議員代表のほか、住民代表者が委員に加わり、新しいまちの姿や公共サービスの水準をどうするかなど、より具体的な協議を行います。

地域支援課 0233-29-1240

知事と市町村長が意見交換

12月4日、平成21年度県政運営に関する知事と市町村長との意見交換会が総合支庁で開催されました。

会議では、県の平成21年度予算要求概要や地方分権について意見交換が行われ、各市町村長からは、安心して農業に取り組めるように支援を強化する必要があるとの意見が多く出されたほか、地域の医療や福祉、産業振興などの問題について意見が交わされました。

地域支援課 0233-29-1235

新「友愛園」が完成！

知的障がい者授産施設 友愛園が、11月に新庄市仁間に移転し、完成を祝う会が12月22日に開催されました。

管内市町村の首長を始め関係者や利用者とその家族、職員ら150名参加し、新しい門出を祝いました。

今回の移転により作業環境が向上し、利用者への工賃増加や一般企業への就労について成果が上がるものと期待されます。

福祉課 0233-29-1272



お知らせ

「森づくり活動発表大会 in 最上」の開催

やまがた緑環境税を活用した県民参加の森づくり活動の成果を、広く県民の皆さまに発信するとともに、森林ボランティア団体等の連携を深め、森づくり活動の輪を広げるため、発表会を行います。たくさんの参加をお待ちしております。

■日 時：平成21年1月18日（日）
午後1時から4時

■場 所：最上広域交流センター
（JR新庄駅併設）

ゆめりあ「花と緑の交流広場」
■内 容：①森づくり活動発表 8件
②森づくり意見交換
③平成21年度みどり環境税
活用公募事業募集説明

■アトラクション：新庄吹奏楽団生演奏
森林整備課 0233-29-1348



県民みんなで支える新たな
森づくりシンボルマーク

最上地域の医師等の医療従事者は地元から！

「めざせ医療のしごと」進路を考える学習会の開催

医師等の確保を目的に、中学生を対象としたものとしては県内初の「進路を考える学習会 ～めざせ医療のしごと～」が12月18日に最上中学校で、同校2年生123名を対象に開催されました。

講師は、最上町立最上病院の医師、看護師と最上町内の薬局の薬剤師の方々が務め、職業を選んだ動機や、仕事のやりがい等について、中学生へのアドバイスとエールを含めながら熱心な話しがありました。続いて、中学生とのQ&Aが行われ、参加した中学生は真剣な眼差しで興味深く聞いていました。

同様の学習会について、1月21日に新庄中学校で開催を予定しており、今後最上地域全体に取り組みを広げていきます。

保健企画課 0233-29-1257



最上小国川 「赤倉地区温泉影響調査報告会」を開催

12月4日、午後7時から最上町中央公民館にて、最上小国川赤倉地区の温泉影響調査報告会を開催しました。当日は、約250名の方々が参加しました。

調査の結果、川底掘削により現在の水位を下げることや、岩盤を掘削することは、温泉に対して回復不可能な影響を与える恐れがあるため困難であり、赤倉地区の治水対策は、「穴あきダム」で早期完成をめざすことが報告されました。

河川砂防課 0233-29-1407



青少年育成懇談会を開催

12月13日、新庄市民プラザにおいて、今年度で5回目となる最上地区青少年育成懇談会が開催されました。最上地区の高校生39名と大人(青少年育成関係者)57名が4グループに分かれ「夢を実現する心構えと行動力を見つめる」を基本テーマに語り合いました。

高校生と大人の視点の違い、夢を諦めないことの大切さなど、話し合いで得たものは大きかったようです。

地域支援課 0233-29-1243



最上地域全体で 自殺予防対策を推進します

昨年8月に行った「最上地域の心の健康づくりや自殺予防に関するアンケート調査」の結果報告会を12月16日に実施しました。参加者は、県や市町村の職員を中心とした約90名です。

調査結果から、「ストレスを多く抱え、死にたいと思っている人が10人に1人」、「家族親戚で自殺した人が5人に1人」など地域にはリスクを抱えている方がたくさんおり、「特に20～40歳代がリスクが高いこと」等が明らかになりました。

これらの地域課題を参加者全員で共有し、今後は、さらに地域の皆様と一緒に自殺予防対策を推進していきます。

※ 調査結果は、年度内に保健所ホームページ等で公表いたします。

保健企画課 0233-29-1257

『第7回最上地域バイオマスフォーラム』を開催

11月28日、新庄市民プラザを会場に『第7回最上地域バイオマスフォーラム』を開催しました。

一般県民や最上地域の行政、林業関係者など約100名が参加し、基調講演や総合討論を通し、豊富な森林資源を活かした新産業の創出と循環型社会の構築について理解を深めました。

産業経済企画課

0233-29-1307



一步²フェスタ2008開催

12月5日、6日、最上広域交流センター「ゆめりあ」において、「みんなと笑顔で元気に一步」をテーマに最上地区障がい者週間記念事業が開催されました。

県立新庄養護学校高等部のみなさんによる「ハイサイおじさん」の踊りや、最上学園の子どもたちによる「あわてんぼうのサンタクロース」など笑顔いっぱいの発表は、会場から大きな拍手を受けていました。

利用者が作ったお菓子や手芸品の販売、絵や写真などの作品展示も行われ、障がい者についての理解が深まった二日間となりました。

福祉課 0233-29-1277



第22回きのこ品評会の開催

12月3日、最上広域交流センター「ゆめりあ」において、県産きのこの品質向上などによるきのこ産業振興を目的とする品評会が行われました。

生しいたけ、なめこ、ぶなしめじ、ひらたけ、まいたけ、えのきたけ、エリンギの約70点が審査され、形や品質等の優れているもの18点が選出されました。

その中から最優秀賞3点が選ばれる2次審査では、商品価値も加味した審査が行われ、林野庁長官賞が鮭川村 田中豊さんのなめこ（瓶栽培）に決定しました。また、県知事賞には鮭川村 深田周一さんのぶなしめじが選ばれました。

森林整備課 0233-29-1349



林野庁長官賞

県知事賞

陸羽東線をSL「湯けむり号」が走る

仙台・宮城デスティネーションキャンペーンの最後の1カ月を盛り上げるイベントとして、12月20日、21日の両日、陸羽東線(新庄駅・小田駅間)をSL「湯けむり号」が走りました。当日は天候にも恵まれ、新庄駅には多くの鉄道ファンや親子連れが詰め掛け、写真を撮ったりしながら懐かしいSLを楽しんでいました。

新庄駅では最上地域観光協議会会員が、乗客や見学者に納豆汁やつきたての餅、車内では弁慶飯をふるまいながら最上の郷土食や観光資源をPRしました。

商工観光振興室 0233-29-1312



最上地域 良食味米コンクールの開催

最上地域産米の品質・食味改善を図り、県の奨励品種である「はえぬき」「コシヒカリ」の評価向上を目的とした平成20年度コンクールを開催しました。

今年度は69点の応募があり、一次審査を通過した5点について、40名の審査員による食味審査を行い最優秀賞が決定されました。

- 「はえぬき」部門
松坂哲也 氏 (新庄市)
- 「コシヒカリ」部門
金藤修一 氏 (新庄市)

農業技術普及課 0233-29-1330



松坂哲也 氏

大日本農会緑白綬有功章の受章

平成20年度大日本農会農事功績表彰事業において、金山町杉沢の栗田和則・キエ子夫妻が緑白綬有功章を受章しました。

たらの芽を中心とした山菜の産地化に大きく貢献したほか、グリーンツーリズムを取り入れた農業経営を展開しながら、里山ならではの暮らしの提案や地域づくりに夫婦共同で長年取り組んできたことが評価されました。



農業技術普及課
0233-29-1326

「職員出前講座」実施中

1月7日、真室川小学校で、森林整備課の職員が出前講座を実施しました。4年生の児童のみなさんに最上の森林を悩ます「ナラ枯れ」についてお話したところ、たくさんのお友だちからお礼のお手紙をいただきましたので、その一部を紹介します。

今かいは、「ナラがれ」について、くわしくおしえてくださってありがとうございます。

「カシノナガキクイムシ」という虫をはじめて見たし、ききました。カシノナガキクイムシは、体長5mmと聞いたのでちいさいなあと思いました。ナラがれにならないようにいろいろなほうほうがあるんだな、と思いました。わたしもなるべく、ナラがれにならないといいなと思いました。

梁瀬菜摘



森林整備課 0233-29-1348

最上総合支庁では、御要望があれば、健康教育や簡易耐震診断など、随時地域のみなさんの要望に応じる総合支庁職員による「職員出前講座」を実施しております。どうぞ、御活用ください。

詳しくは、[県庁ホームページTOP](#) ⇒ [地域情報](#) ⇒ [最上総合支庁](#) ⇒ [総合支庁からのお知らせ](#) ⇒ [お知らせ](#) ⇒ 最上総合支庁「職員出前講座」について をご覧ください。 [地域支援課 0233-29-1239](#)

農業用水安定供給の切札！ ストックマネジメント事業が本格始動

農業用水利施設のストックマネジメント事業*が、清水揚水機場において実施されています。

2基あるポンプ本体の磨耗状況等を調査し、本年度は内1基を磨耗しにくい高硬度な材料で補修する等の対策を行い、今春の通水に万全を期すことにしています。

清水揚水機場は大蔵村赤松の最上川から約100m揚水し、新庄市一円の農地約3,000haを潤おす基幹施設として平成2年より供用開始しました。冬期間には新庄市内の消流雪溝の用水源としても利用します。

※ストックマネジメント事業とは適期に適切な補修・補強対策を行うことにより施設の長寿命化を図り、更新や維持管理費用（ライフサイクルコスト）を低減して、農業用水の安定確保を目指すものです。



ポンプ本体の分解・調査状況

農村計画課 0233-29-1340



用水をおし上げる羽根車（ケーシングとの回転部の磨耗進行）

もがみ体験観光を紹介します

◆ 2/14（土）～15（日）は 里山の暮らし体験ツアーに参加 しませんか？

概要：1日目は、森の案内人星川千枝子さんに教わる、里山の暮らしと食文化体験。夜は雪遊び。
2日目は、ツーリングスキーを履いて雪化粧を見ながら、動物の足跡や森の落し物探しに出かけます。

日程：1日目
13:00～受付（木もれび館）
13:30～里山の食文化体験
15:30～（スノーモービルやアイスづくり、スノーラタン、スノーキャンドルづくり）
16:30～日帰り者解散
2日目
9:30～ツーリングスキー出発（宿泊者）
12:00 解散

参加対象：小学生以上（小学生は、保護者の引率必要）

参加料金：1泊2日コース 6,000円
日帰りコース 大人 1,000円
子ども 500円

宿泊場所：シェーネスハイム金山

定員：20名（先着順）

申込：2月6日（金）まで、山形県遊学の森「木もれび館」まで。

電話 0233-64-3305

◆ 冬遊びは鮭川村エコパークで！



概要：エコパーク内の雑木林を散策するスノーシューハイキング、イグルー（イヌイットの家）作り、山の斜面や沼の堤帯を利用したソリ（タイヤチューブ）乗りなどが体験できます。

料金：一人500円～ ソリ（チューブ）は無料

受入可能人数：4名（応相談）

受入可能期間：1月～3月（要予約）

体験所要時間：1時間～

受入可能時間：10時～16時

休館日：毎週火曜日

申込：有限責任事業組合フリーハンド（鮭川村指定管理者）まで
電話0233-55-5203